

令和5年度

(国語) 授業計画表

教科名	科目名	単位	学年・講座	教科書(発行所)
国語	論理国語	2	2年1組Ⅱ型	高等学校 標準論理国語 (第一学習社)
学習のアドバイス	1 本文をよく読み、語句の量を増やし、語彙を豊かにしよう。 2 文章の構成や展開の仕方について理解を深めるようにしよう。			
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。
	上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。			
	授 業 内 容	時間	学 習 の ポ イ ン ト	
学 期	進化が導き出した答え (稲垣栄洋)	5	○生物の進化における多様性について理解し、それを人間の生き方に照らして考えを深める。 ○本文の内容を人間の世界に当てはめた場合の生き方について粘り強く考え、文章にまとめて発表する。	
	数え方で磨く日本語 (飯田朝子)	5	○具体例をもとに日本語のものの数え方の性質や文化的特徴を理解し、日本語感覚を磨く。 ○「数え方の補う情報をうまく利用」した短い広告のコピーを粘り強く考え、積極的に発表する。	
	<中間考査>	1		
	新しい地球観 (毛利衛)	5	○オーサグラフ地図の特徴を捉え、筆者が述べる「新しい世界観」との関連について考察する。 ○学習課題に沿って地図の描かれた時代背景や見る人の世界の見方について考え、積極的に発表する。	
	名所絵はがきの東西 (高階秀爾)	5	○絵はがきを例に筆者が東西の自然観をどのように捉えているか把握し、自分の考えを深める。 ○積極的に名所絵はがきの特徴を理解し、筆者の主張と照合して説明する。	
	<期末考査>	1		
夏季休業中の課題	2			

二 学 期	バラと通貨はどう違う？（浜矩子）	5	○本文中で通貨と対比されているものの性質を把握し、筆者が述べる通貨の本質を理解する。 ○本文を踏まえて、時代による「通貨」のあり方の違いについて積極的に話し合う。
	共同性の幻想（菅野仁）	5	○「同調圧力」がはたらく社会的背景を理解し、現代における人間関係のあり方について考察する。 ○筆者の提言について、本文を読んで考えを深め、自分に引き付けて具体的なあり方を考え、積極的に話し合う。
	<中間考査>	1	
	情けは人の……（俵万智）	5	○本文中に示された言葉の正しい意味を知るとともに、言葉に対する筆者の姿勢を読み取る。 ○本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解する。
	犬も歩けば棒に当たる（阿刀田高）	5	○一つのことわざについて複数の解釈を提示する文章を読んで、日本語の多様性について理解を深める。 ○複数の文章を比較しながら、ことわざの誤用や複数の解釈について積極的に調査し、まとめる。
	<期末考査>	1	
	冬季休業中課題	2	
三 学 期	ヒトはなぜヒトになったか （長谷川真理子）	5	○因果関係を解き明かしていく論理構成の手順を把握し、ヒトの進化の過程を理解する。 ○ヒトの進化の過程とその要因について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。
	鏡としての他者（榎本博明）	5	○文章構造をもとに筆者の主張を読み取り、他者が自己に与える影響を考える。 ○本文を読んで、日常生活において自己イメージを意識する場面について考え、進んで話し合う。
	法に関わる文章を読み比べる	5	○二種類の実用的な文章を読み比べて必要な情報を読み取り、両者を関連づけて解釈する方法を学ぶ。
	メールの文章	6	○実用文には書き方のルールがあり、場面や目的に応じて書き方に工夫が必要な点を理解する。 ○自分の考えが的確に伝わる文章になるように、表現のしかたを工夫する。
	<学年末考査>	1	
総 時 間 数		70	